

令和7年6月24日

# 「こおりやまの米」通信



GOOD RICE DAY  
毎月8日は  
こおりやま「お米の日」

編集:郡山市

JA福島さくら郡山統括センター (Tel.024-921-0503)

NOSAI福島中央支所 (Tel.024-933-3307)

県中農林事務所農業振興普及部 (Tel.024-935-1310)

発行:郡山市農作物生産対策協議会

(郡山市園芸畜産振興課 Tel.024-924-3761)

## 生育状況速報(6月17日現在)

### 1 生育状況

#### (1) 肥料・農薬展示ほ場・作況ほ場の生育状況

6月17日に行った各ほ場の調査結果は、以下の表のとおりです。平年に比べ草丈は短く、茎数は多く、葉色は濃い傾向ですが、移植時期の違い等によりばらつきがあるので参考程度としてください。

また、ヒエやホタルイが発生しているほ場が散見されます。雑草の種類を確認して中・後期除草剤の使用をお願いします。

#### (2) 福島県農業総合センターの生育概況

作柄解析試験(慣行栽培、5月15日移植)の6月17日現在の生育は、平年に比べ草丈は長く、茎数は多く、葉色は濃い傾向です。葉齢はやや早く、1~2日程度早まっています。

### 2 今後の管理

- (1) 有効茎を確保(有効茎数の8割を視認できる)していないほ場では浅水管理を継続し、有効茎を確保したほ場は速やかに中干しを開始してください。
- (2) 異常還元(ガス湧き)が見られるほ場では、一時落水や間断かんがい等により土中に酸素を供給し生育の回復を促してください。
- (3) 生育が遅れているほ場への窒素追肥は、生育回復後の過剰生育や倒伏の原因となるため控えてください。
- (4) 梅雨に入ると葉いもちの感染が心配されるので、病虫害防除所のホームページの BLASTAM(ブラスタム)を参考に、ほ場を巡回して早期発見・防除に努めてください。また、高温年次は紋枯病が発生しやすいので、葉いもちと併せてほ場を巡回して早期発見に努めてください。
- (5) 斑点米カメムシ類対策として、ほ場周辺のイネ科雑草の草刈り等を継続して実施してください。詳しい内容については、「こおりやまの米」通信(Vol.4)を、参考にしてください。



ブラスタムQRコード

#### 生育調査結果(6月17日現在)

品種	地区	移植日	草丈 (cm)		茎数 (本/m <sup>2</sup> )		葉齢 (葉)		葉色値 (カラスケール値)		葉色値 (SPAD502値)	
				( )		( )		( )		( )		( )
コシヒカリ	田村	5月5日	37.4	(88)	535	(130)	8.7	0.1	8.7	(4.4)	43.1	1.6
コシヒカリ	三穂田	5月12日	36.1	(94)	373	(108)	7.0	(-0.8)	5.0	(0.6)	43.9	(1.4)
コシヒカリ	富久山	5月12日	41.8	(228)	243	(110)	7.5	(-0.2)	5.5	(1.2)	45.4	(4.2)
コシヒカリ	日和田	5月4日	39.2	(98)	285	(77)	7.1	(-1.5)	5.5	(1.0)	47.3	(4.5)
ひとめぼれ	熱海	5月14日	29.8	(91)	264	(103)	4.7	(-2.2)	4.5	(0.7)	47.6	(9.3)
ひとめぼれ	喜久田	5月13日	29.7	(102)	287	(113)	5.9	(-1.6)	5.0	(0.2)	45.8	(1.3)
天のつぶ	三穂田	5月16日	32.1	(84)	327	(112)	6.5	(-1.3)	5.5	(1.2)	44.9	(0.1)
ふくひびき	喜久田	5月13日	39.5	(151)	281	(224)	7.4	(1.7)	4.5	(0.5)	-	-
里山のつぶ	湖南	5月19日	25.6	(86)	206	(84)	5.8	(-0.9)	4.0	(-0.3)	38.8	(0.8)
直播天のつぶ	喜久田	5月18日	19.0	(66)	74	(39)	2.7	(-2.8)	3.0	(-1.0)	-	-

\* ( )内は平年比(%)又は平年差

\* 「コシヒカリ」(三穂田)は前年比(%)又は前年差

\* 「直播天のつぶ」は移植日の欄は播種日

# 【高温登熟対策について】

今年の夏も気温が高く経過することが予想されています。出穂期後 20 日間の平均気温が26℃を超えると玄米品質の低下（白未熟粒の発生）が心配されます。適切な肥培管理により玄米品質の維持向上に努めてください。

## 1 水管理

生育ステージに応じた適切な水管理を心がけてください(米通信Vol.4を参照)。

### 〈高温時の水管理〉

飽水(ひたひた水)管理は地温・水温を下げる効果が確認されていますので、出穂期以降、高温が予想される場合の水管理として実施します。また、用水が十分に確保される場合は間断かん水、夜間落水・昼間湛水管理を行い地温や稲体温度の上昇を抑えます。

## 2 追肥

高温時の出穂期追肥により整粒歩合が向上し、白未熟粒の発生割合が低下します。基肥一発肥料を施用した場合でも、極端に葉色が褪めている場合は、出穂直前に窒素成分で1 kg/10a (硫安で 4.5kg)を上限に施用します。なお、食味低下の要因ともなりますので、生育に応じた実施の判断が必要です。

また、高温時のケイ酸追肥が整粒歩合低下を抑える効果が認められています。

# ~~~~熱中症にご注意ください~~~~

## 1 農作業中の熱中症対策

### (1)計画的に作業しましょう

日中の気温が高い時間帯の野外作業は極力避けてください。どうしても必要な場合は帽子をかぶり、作業時間を短くしてください。

### (2)水分・塩分補給の時間をとりましょう

のどが渇いていなくても、20分おきに休憩し、水分補給をしてください。

### (3)なるべく2人以上で作業しましょう

なるべく2人以上で作業し、時間を決めて声をかけあったり、異常がないか確認し合ってください。

### (4)ビニールハウスや畜舎も注意

炎天下でない施設内も高温多湿ならリスク大。風通しをよくするなどの対策をしてください。

## 2 熱中症の症状と対応

### (1)現場での応急処置で対応できる軽症 ⇒ 応急処置

- ア めまい、立ちくらみがある
  - イ 筋肉のこむら返りがある(痛い)
  - ウ 拭いても拭いても汗が出てくる
- ・涼しい場所へ避難し、濡れタオル等で体を冷やす
  - ・水分、塩分を補給する

### (2)病院への搬送を必要とする中等症 ⇒ 医療機関へ

- ア 頭がガンガンする(頭痛)
  - イ 吐き気がする・吐く
  - ウ 体がだるい(倦怠感)
- ・服をゆるめ体を冷やす
  - ・水分、塩分補給(吐き気がする・吐く場合は厳禁)
  - ・医療機関で受診

環境省熱中症予防情報サイト⇒  
熱中症に関する各種情報が閲覧できます。



熱中症警戒アラート⇒  
熱中症の危険性が高くなった際に  
メールで情報が通知されます。

